

2009年中堅・中小企業の 運用管理/資産管理アプリケーション利用シェアと評価調査報告

ノークリサーチ（本社〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705；代表：伊嶋謙二 TEL：03-5244-6691 URL：http://www.norkresearch.co.jp）は2009年の国内中堅・中小市場における運用管理/資産管理アプリケーション利用シェアと評価に関する調査を実施、その分析結果を発表した。本リリースは「2009年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」の運用管理/資産管理アプリケーションカテゴリに関する速報である。

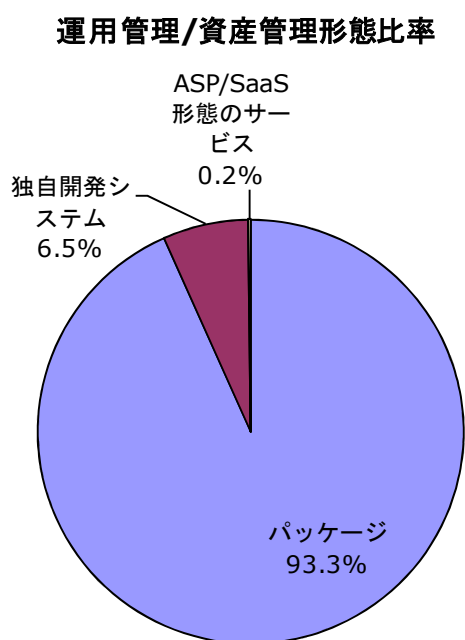
＜全体としては安定したシェア状態だが、低年商帯でのシェア争いは今後激化する＞

- パッケージが遠隔監視などのサービスを生かす形で、今後は徐々にASP/SaaS形態との融合が進む
- 上位四製品で全体の約7割を占める安定したシェア状態だが、年商50億円未満は変動の可能性あり
- 構築/運用の規模が大きくなるにつれて製品評価は厳しくなるが、その中でも「JP1」が高い評価を維持

対象企業	年商5億円以上～500億円未満を中心とした国内民間企業
対象地域	全国
対象の選定	弊社所有の企業データベースから抽出
サンプル数	約5,000社対象（有効回収票1,480件）
調査期間	2009年6月～9月

パッケージがサービスのメリットを生かす形で、徐々にASP/SaaS形態との融合が進む

以下のグラフは国内中堅・中小企業（年商5億円以上～500億円未満）の民間ユーザ企業に対し、運用管理/資産管理アプリケーション導入形態現状（パッケージ、独自システム開発、ASP/SaaS形態）の比率を尋ねた結果である。



運用管理/資産管理はハードウェア側の情報を取得する必要があり、新しいハードウェアへの追随は必須である。そのため独自開発システムでは対応が難しく、必然的にパッケージ形態の比率が高くなる。

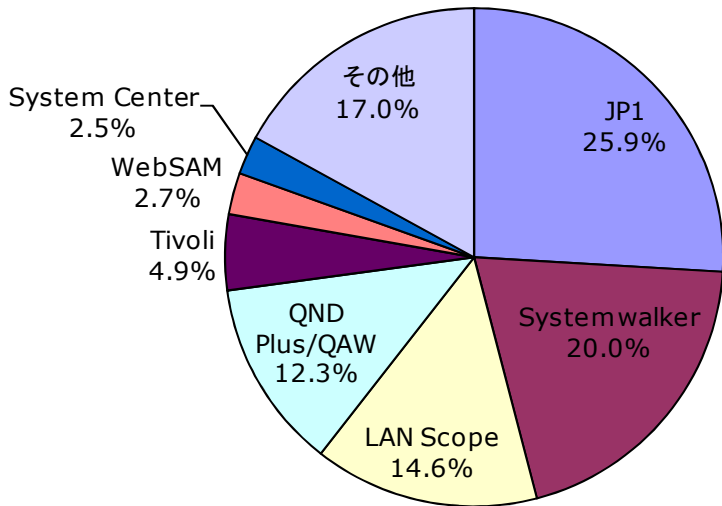
一方で、クライアントPCを主な対象としたASP/SaaS形態による運用管理/資産管理サービスも登場してきている。

ユーザの視点から見た場合には、従来と同様に管理対象に何らかのエージェントモジュールを導入し、ブラウザで管理を行うという使い勝手は変わらないため、ASP/SaaS形態を利用しているといった自覚がなく、形体比率シェアには表れにくい面がある。

N=434 今後は遠隔での監視サービス提供などといったASP/SaaS形態の長所をパッケージが取り込む形で進化していくものと予想される。

上位四製品で約8割を占める安定したシェア状態だが、年商50億円未満は今後大きく変動

運用管理/資産管理パッケージシェア



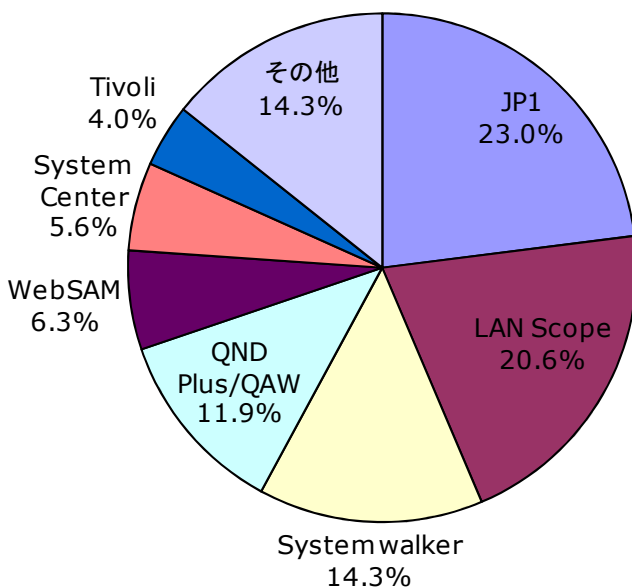
左グラフはパッケージ利用シェア（現在導入済みのパッケージ製品に関する社数ベースのシェア）の結果である。

上位四製品である「JP1」「Systemwalker」「LanScope」「QND Plus/QAW」の順位は昨年と変化がなく、上位四製品で全体の約7割を占める状態となっている。

しかし、年商50億円未満のユーザ企業層に限定してみると、セキュリティ関連などの機能強化を地道に進めた「QND Plus/QAW」がシェアを4.7ポイント伸ばすなど、シェア変動の余地はまだ十分残っている状況である。

N=405

運用管理/資産管理利用予定パッケージシェア



左グラフはパッケージ利用予定シェア（新規導入または今後も継続して利用する意向のあるパッケージ製品の社数ベースのシェア）の結果である。

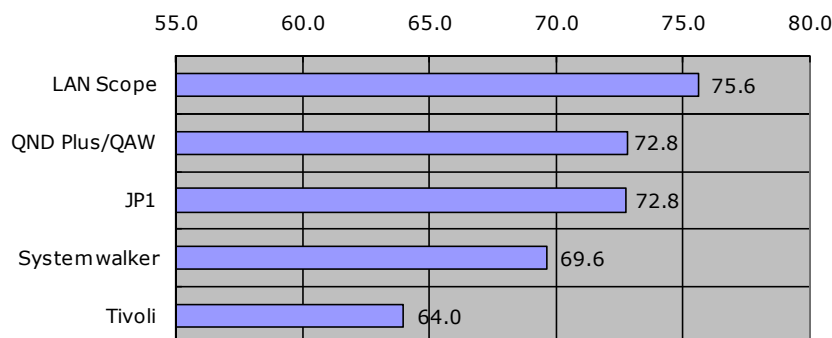
利用予定シェアは年商別に傾向がやや異なっている。年商50億円未満では中小企業市場に強い「LAN Scope」や「QND Plus/QAW」が上位に位置している。年商50億円以上では「JP1」が大企業向けのデファクトともいえる強い影響力を中堅企業市場にも発揮し、首位を堅持している。

中堅・中小企業に特化した「JP1 Ready Series」が新たにリリースされたことから、運用管理/資産管理に関するユーザ企業への啓蒙と合わせて、年商50億円未満のシェア争いが今後激化していくものと予想される。

N=126

構築/運用の規模が大きくなるにつれて評価は厳しくなるが、その中でも「JP1」が高評価

運用管理/資産管理パッケージ評価



N=405

左グラフは利用シェアにおける上位五つのパッケージに対するユーザの五段階評価（製品全体に対する総合的な評価）の結果である。

「LAN Scope」や「QND Plus/QAW」といった低年商帯を対象とした製品は手軽な導入/運用という面で評価が相対的に高くなる傾向がある。一方、「JP1」「Tivoli」「Systemwalker」といった総合製品は導入や運用の規模が大きく、難易度も高くなるため、相対的に評価が低くなりやすい。

そうした背景を踏まえると、「JP1」は導入規模に関わらず高評価を得ているといえる。

レポート発刊のご案内

『2009年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価』

中堅・中小企業市場におけるITアプリケーションの動向を全国の中堅・中小の民間企業（年商5億円以上～500億円未満、1480社）の調査結果から詳細に分析した必携の一冊

価格： 95,000円(税別) ※CD-ROM版/製本版のいずれかを選択可

発刊日： 2009年10月26日

【主なレポート内容】

- ・ ITアプリケーションの提供形態（パッケージ、独自開発システム、ASP/SaaS）の現状と今後
- ・ ITアプリケーションパッケージのカテゴリ別利用シェア（社数ベースの導入シェア）
- ・ ITアプリケーションパッケージのカテゴリ別評価（製品に対する満足度を五段階で評価）
- ・ ITアプリケーションパッケージのカテゴリ別利用予定シェア（社数ベースの導入予定シェア）

対象となるITアプリケーションカテゴリ

「ERP」「生産管理システム」「財務管理システム」「販売管理/購買管理システム」
 「給与管理システム」「人事管理システム」「ワークフロー」「グループウェア」「CRM」
 「運用管理/資産管理」「クライアントPCセキュリティ」「CTI」「DWH/BI」「文書管理」
 「帳票」

当調査データに関するお問い合わせ

株式会社 ノークリサーチ 担当：岩上 由高
 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705
 TEL 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692
 inform@norkresearch.co.jp
 www.norkresearch.co.jp

NORK RESEARCH